

将棋教室（2回目）を開催しました：〔3・4年生〕

6月21日（火）に、3・4年生を対象に、井上慶太九段を講師の先生に、第2回目の将棋教室を開催しました。

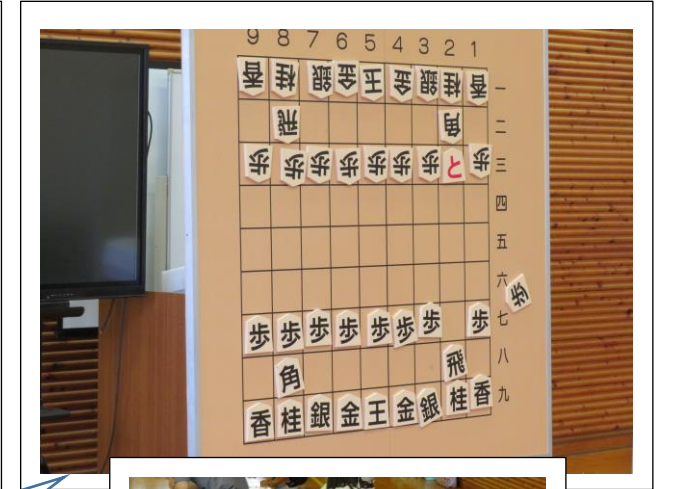
4年生の児童が、はじめのあいさつで、「友だちとたくさん対局したいです。」と話しました。将棋に興味を示してくれているのがよくわかります。

そして、子どもたちは、1回目の将棋教室で教えていただいたことをよく覚えていました。「(将棋の発祥の地は?) 将棋はどここの国から始まりましたか?」と尋ねられると「インドです。」と、「将棋が今のルールになったのは何時代ですか?」と尋ねられると「江戸時代です。」と、子どもたちは答えました。井上九段から、「よく覚えていたね。」とほめていただきました。

また、それぞれの駒の動かし方もよく覚えていました。



駒の動かし方を復習した後、子どもたちは、友だちと対局しました。



子どもたちは、生き生きして友だちと対局しました。途中、駒の正しい置き方や、「歩」が「と」になるときの説明を井上九段から受けました。





最後は、井上九段対3・4年生で対局しました。

図書の学習が充実しています

今年度、塚本先生が図書の学習を担当し、読み語りやビブリオトークを中心として、どんどん図書の魅力を子どもたちに伝えています。



1年生



「図書館ぶんるいのうた」を子どもたちと歌いながら、図書室の配架を確認しました。



5年生



6年生

6年生は、「自分の中で、みんなの中で考える～昔話法廷～ 物語の空白部分を私が解釈する」の学習（3時間計画）を行いました。一人一人がしっかりと考えられました。

